

平成28年度

事業報告書

## 4. 事業

### (1) 発掘調査

平成 28 年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、924,280,000 円であったが、調査の進捗状況等により、最終的に契約金額 912,049,600 円（契約件数 18 件）となった。

区 分	当初予定	契約実績	差異
受託事業費（千円）	924,280 千円	912,049.6 千円	△12,230.4 千円
契約件数（件）	21 件	18 件	△3 件
区 分	当初予定	契約実績	差異
発掘調査（北部）	4 件	2 件	△2 件
発掘調査（中部）	4 件	3 件	△1 件
発掘調査（南部）	13 件	13 件	0 件
合 計（件）	21 件	18 件	△3 件
遺物整理（件）	2 件	2 件	0 件

現地説明会、関係者説明会として 13 回実施し、参加者は 2,326 名であった。

4 月 23 日（土）	女谷・荒坂横穴群現地説明会（八幡市）	124 名
4 月 27 日（水）	平安京跡京都府職員公開（京都市）	307 名
4 月 29 日（金・祝）	平安京跡現地説明会（京都市）	413 名
8 月 6 日（土）	芝山遺跡現地説明会（城陽市）	114 名
9 月 14 日（水）	女布遺跡関係者説明会（京丹後市）	21 名
10 月 8 日（土）	東光寺跡現地説明会（舞鶴市）	83 名
10 月 11 日（火）	井ノ内遺跡関係者説明会（長岡京市）	12 名
10 月 28 日（金）	阿良須遺跡関係者説明会（福知山市）	24 名
11 月 18 日（金）	平安京跡京都府職員公開（京都市）	200 名
11 月 19 日（土）	平安京跡現地説明会（京都市）	590 名
11 月 24 日（木）	佐伯遺跡関係者説明会（亀岡市）	53 名
1 月 21 日（土）	佐伯遺跡現地説明会（亀岡市）	95 名
1 月 28 日（土）	岡田国遺跡現地説明会（木津川市）	290 名

なお、調査を実施したもののうち、特に顕著な調査成果が得られているものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要遺構等	時代
5	平安京跡	京都市 上京区	幕末期京都守護職上屋敷跡を検出 安土桃山時代の金箔瓦 戦国時代の幅5m、深さ3.5m、検出長 75mの堀を検出。上京総構の堀	安土桃山・ 近世
8	岡田国遺跡	木津川市 木津	奈良時代の道路2条と轍跡 宅地内に5棟の建物跡と雨落溝 墨書土器「越後」、埴、円面硯、銭貨	奈良時代
10	丹波丸山古墳群	京丹後市 峰山町	古墳時代前期の直径28mの円墳 7基の古墳から構成される 1墳丘に7基の埋葬施設 ヤリガンナ1点出土	古墳時代

調査報告書については各300部印刷し、以下のとおり刊行した。

『京都府遺跡調査報告集 第168冊』 3月刊行

『京都府遺跡調査報告集 第169冊』 3月刊行

『京都府遺跡調査報告集 第170冊』 3月刊行

## (2) 普及啓発

### (ア) 埋蔵文化財セミナー

埋蔵文化財セミナーの実施は次のとおりである。

回数	開催日	実施内容	会場
132	平成 28 年 6 月 4 日 (土)	『京都北部の中世社会』 ・考古資料からみた丹後の中世社会 京都府立丹後郷土資料館 資料課長 森島康雄氏 ・大川遺跡の調査成果について 当調査研究センター 調査員 綾部侑真 ・戦国時代の舞鶴と中山城を考える －中山城発掘調査報告を踏まえて－ 京都府立東舞鶴高等学校 教諭 廣瀬邦彦氏	舞鶴市西総合会館 (参加者 56 名)
133	平成 28 年 8 月 20 日 (土)	『近年の発掘調査成果速報－第 30 回小さな 展覧会展示遺跡から－』 ・「大型群集墳」としての松井横穴群 当調査研究センター 主任 加藤雅士 ・史跡五塚原古墳の調査研究課題 (公財)向日市埋蔵文化財センター 事務局長 梅本康広氏 ・「第 30 回小さな展覧会」の見どころ 当調査研究センター 調査員 菅 博絵	向日市寺戸公民館 (参加者 49 名)
134	平成 29 年 2 月 25 日 (土)	『南山城の古代都城と役所を探る』 ・城陽市域における奈良時代の寺院と役所について 城陽市教育委員会文化・スポーツ推進課 課長補佐 小泉 裕司氏 ・城陽市芝山遺跡の発掘調査成果とその意義 について 当調査研究センター 調査員 清水早織 ・恭仁宮跡朝集院の発掘調査成果から 京都府教育庁指導部文化財保護課 副主査 古川 匠	城陽市立福祉センター (参加者 62 名)

(イ) 設立 35 周年記念事業

35 周年記念『maibun35 kyoto-fu』の刊行

## 「35年のあゆみ」の刊行

### (ウ) 成果展（小さな展覧会）

平成 26・27 年度に当調査研究センターが実施した調査成果を中心として、府内で各調査機関が実施した調査成果も加え成果展を開催した。

会場は向日市文化資料館で、会期は平成 28 年 8 月 13 日（土）から同 28 日（日）まで実施。（参加者 1,460 名）

### (エ) 機関誌

機関誌『京都府埋蔵文化財情報』は、次のとおり刊行した。

第 130 号	10 月刊行	1,500 部
第 131 号	3 月刊行	1,500 部

### (オ) その他刊行物

センター紹介パンフレット『OUTLINE』の刊行

### (カ) 出前講座・体験授業等

出前講座、体験授業等として 4 回実施した。

4 月 16 日（土）	女谷・荒坂横穴群地元小中学生・保護者見学会	小中学生・保護者	140 名
9 月 21 日（水） 10 月 5 日（水）	長法寺小学校（らくしんすくすく教室）、京のまなび教室「勾玉をつくってみよう」	長岡京市立長法寺小学校 4～6 生・ボランティア	35 名
11 月 1 日（火）・ 2 日（水）・4 日（金）3 日間	藤森中学校生き方探究・チャレンジ体験（於：城陽市芝山遺跡、センター本部）	京都市立藤森中学校生徒	3 名
11 月 4 日（金）	丹波丸山古墳群現地見学会（京丹後市立丹波小学校）	小学生 6 年生	9 名

### (キ) 「関西考古学の日 2016」関連事業

「関西考古学の日 2016」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック加盟 13 法人が、連携して各機関の普及活動を実施する事業である。当調査研究センターでは、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」を 6 回開催し、秋の考古学講座を 2 回実施した。

### ①夏休み考古学体験講座

講座名 「勾玉をつくろう！」

日 時 平成 28 年 8 月 17 日（水）～ 8 月 19 日（金）

3 日間 午前・午後の各 2 回、合計 6 回実施

対 象 乙訓管内の小学 4 年生から 6 年生

人 数 合計 159 名

### ②秋の考古学講座（於：当センター研修室）

第 1 回 平成 28 年 10 月 1 日（土） 受講者 26 名

「韓国・武寧王陵からみた中国・南朝梁と日本の墓制」

調査課参事 小池 寛

第 2 回 平成 28 年 11 月 5 日（土） 受講者 24 名

「うろこ文様の起源を中央・東アジアの考古資料から探る」

調査課調査員 菅 博絵

### (ク) 「向日市まつり」での考古学体験ブース

平成 28 年 11 月 19 日（土）、20 日（日）に京都向日町競輪場において開催された「向日市まつり」に「伝統の網代編みにチャレンジしよう」ブースを運営した。縄文時代以来の網代編みでコースターを作り、参加者に持ち帰っていただいた。参加者は、2 日間で 115 名であった。

### (ケ) 世界考古学会議第 8 回京都大会（WAC 8）への協力

平成 28 年 9 月 1 日（木）に平安京跡での現場公開を実施。海外からの参加者は 35 名であった。

### (コ) 共同研究

申請者	共同研究者	テーマ
菅 博絵	小池 寛、岡村美知子	弥生時代有孔土器の再検討
田原葉月	綾部侑真、引原茂治、 武本典子	平安京城における 16～17 世紀の輸入陶磁器
藤井陽輔	伊賀高弘	帯金式甲冑成立段階における短甲の基礎的研究 －方形板革綴短甲と長方板革綴短甲－

## 5 その他

### (1) 職員研修

#### (ア) 専門研修

全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが開催す

る研修会及び文化庁が主催する講習会などに参加した。

公益財団法人公益法人協会が実施する会計セミナー、資産運用連続講座に参加した。

#### (イ) 一般研修

当調査研究センター人権研修推進委員会が中心となり、加藤理事の協力を得て、10月31日に職場研修を実施した。また、臨時職員を対象とした職場づくり研修を本部及び発掘調査現場で実施した。このほか、京都府教育庁・乙訓教育局・亀岡市主催の人権研修や公益財団法人世界人権問題研究センター主催の人権大学講座に積極的に参加した。

#### (2) 遺跡検討会

大きな成果のあった2遺跡について、報告書作成作業に先立ち、関係機関の協力を得て遺跡検討会を実施した。

「平安京跡・東本願寺前古墓群」

平成28年9月30日（金） 参加者：センター職員

「松井横穴群」

平成28年11月30日（水） 参加者：菱田理事、京田辺市教育委員会、  
センター職員

#### (3) 講師派遣

京都府立大学から講師の派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」を5～7月（前期）・10～12月（後期）に行い、土曜日に5名の職員を交替で派遣した。各職員は6回程度の講義を行った。